

育成センター情報

令和4年3月9日(水)
 【倉敷市青少年育成センター】
 倉敷市西中新田640番地
 TEL 426-3861 / FAX 421-6018

早春の候、皆様方にはますますご清祥のことと存じます。また、平素から青少年の健全育成のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、3月は「青少年健全育成強調月間」となっており、倉敷市青少年育成センターでは、より一層充実した活動に努めてまいります。なお、来年度、少年補導委員の方は“委嘱の年”になります。退任なさる方の中には、長年にわたり少年補導委員として活動いただいた方も多くいらっしゃいます。青少年の健全育成のために、献身的にお力添えをいただきまして、あらためて深く感謝申し上げます。また、多くの方々には、引き続きご活動いただけることになり、大変心強く思っています。

コロナ禍での活動において、4月以降もある程度の影響を受けるかと思いますが、できることを着実に、より地域に根差した活動を考えております。今後ともお力添えをいただきたいと考えておりますので、来年度も何卒よろしくお願いたします。



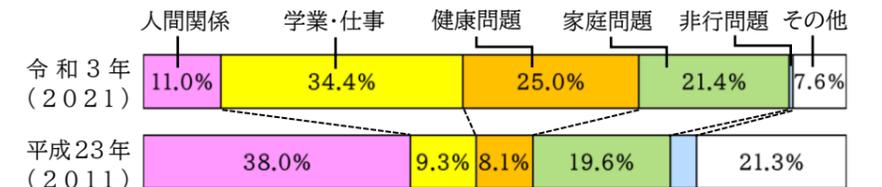
倉敷駅北橋上で高校生に声掛けをする青少年育成センター補導員。人と人の“つながり”を大切にしています。

前は、補導対象行為の約半数が喫煙行為であることを考えると、大幅に減っていることがわかります。減少の要因としては、学校教育や地域社会での粘り強い取組と日々の活動のほか、青少年にとってたばこが身近なものではなくなってきたこともあげられます。

例えば、平成16(2004)年に財務省の指針が改定され、テレビやラジオなどのメディアCMが規制されるなど、たばこ広告の制限を強化しました。これ以降、映画やドラマでよくみかけた喫煙シーンが消えていき、自分自身と映像の中の人物を重ね合わせ、たばこを吸う仕草に格好良さなどを求めた時代は過去のものとなっていきました。その結果、たばこに興味や関心を抱く機会も少なくなりました。さらに4年後には、自販機専用ICカード導入され、青少年がたばこを気軽に購入することが難しくなり、度重なる値上がりや、受動喫煙に対する健康被害への認知と理解が進んできたことも減少の要因といえます。かつて、不健全娯楽の象徴ともよばれたゲームセンターでも、青少年の動向は大きく変化しました。スマートフォンなどでのオンラインゲームが普及したため、ゲームセンターに集まる青少年は大幅に減っています。

この10年間で、ガラケーとよばれた携帯電話は、急速にスマートフォンへと取って代わりました。それは、今の青少年の最も身近なアイテムの一つであり、それに伴う新たな問題も生まれています。青少年を取り巻く環境は、刻々と変化しています。倉敷市青少年育成センターでは、その変化に適応しながら、原点を見つめ直し、青少年が“意欲の向上や未来を展望できる”活動を推進していきたくと考えています。

倉敷市青少年育成センターでは、年間800件前後の相談を受けており、令和3年2月末現在で555件を受理しています。10年前と比べると、「学業・仕事」と「健康問題」が3倍以上増加しました(右表)。相談者別では、保護者や祖父母などの家族からの相談が2.5倍に増え、不登校や高校中退後の進路問題・就労問題が増加しました。最近では、さまざまな要因から精神的な不調を訴えるケースも増加しています。今後とも、相談者の主体性を奪うことなく、抱える悩みを一緒になって考えていけるよう取り組んでいきます。



相談(電話・来所・メール)内容における内訳の割合(令和3年は2月末現在)
 人間関係[異性関係・対人関係・いじめ・ひきこもり]、学業・仕事[進路・不登校・仕事]、健康問題[身体的・精神的・性]、家庭問題[家族関係・子育て]、非行問題[不良行為・不純異性交遊・被害]、その他[虐待・問い合わせなど]

倉敷市少年補導委員連絡会1月研修会を中止へ 倉敷市青少年育成センター運営協議会を书面開催へ

倉敷市少年補導委員連絡会1月研修会」は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止としました。開催されれば、少年補導委員の皆様へ、“子ども観”を深め、情報提供ができる良い機会であっただけに残念でした。また、2月2日(水)に開催予定の「倉敷市青少年育成センター運営協議会」は、書面による開催としました。なお、本会での説明資料について、倉敷市青少年育成センターのホームページに掲載しています。(https://www.city.kurashiki.okayama.jp/shogaku/ikusei/ikusei)

1月22日(土)に、美作大学生生活科学部児童学科長 教授 渡邊淳一氏を講師にお招きしての開催予定でした「倉敷市青少年育成センターの統計資料から

	平成13年【2001】	平成23年【2011】	令和3年【2021】
学識別延べ補導人員	小学生	36 (2.7%)	159 (15.3%)
	中学生	668 (50.2%)	307 (29.5%)
	高校生	554 (41.6%)	536 (51.5%)
	その他校	0 (0.0%)	3 (0.3%)
	有職・無職少年	74 (5.5%)	35 (3.4%)
	合計	4,117	1,332
合計のうち、喫煙行為が占める延べ人員とその割合	1,849 (44.9%)	210 (15.8%)	71 (6.8%)

学識別の延べ補導人員ほか(令和3年は2月末現在)

“十年一昔”とはいうけれど……

倉敷市青少年育成センターの統計資料から

令和3年2月末現在の補導件数は1,040件で、10年前(平成23年)と比べて減少し、20年前(平成13年)の約4分の1にまで減少しました(左表)。そのうち、喫煙行為は、平成13年から大幅に減少しています。学識別にみると、中学生では10年前の75人から12人にまで減少し、全体に占める割合も35.7%から16.9%にまで減少しています。20年



お知らせ 令和4年度「倉敷市少年補導委員連絡会委嘱式・総会・研修会」は、次のとおり開催予定です。少年補導委員の皆様方のご出席をよろしくお願いいたします。なお、ご案内は4月に配布予定です。

令和4年度 倉敷市少年補導委員連絡会 委嘱式・総会・研修会
 日時：令和4年5月21日(土) 13:00~15:30
 場所：ライフパーク倉敷 大ホールほか
 内容：① 委嘱式 ② 全体総会 ③ 地区総会・研修会

お願い 【各中学校ブロック班長さんへのお願い】
 腕章・補導ジャンパー等の確認管理もよろしくお願いいたします。紛失や破損等、過不足がありましたら青少年育成センターまでご連絡ください。

【小・中・高等学校の先生へのお願い】
 異動や校務分掌の交代で、少年補導委員から離れる先生もおられるかと思いますが、少年補導委員の活動について、補導用ジャンパー(背中に倉敷市青少年育成センターとプリントされているもの)の受け渡しを含め、引継ぎをさせていただきますようお願いいたします。